

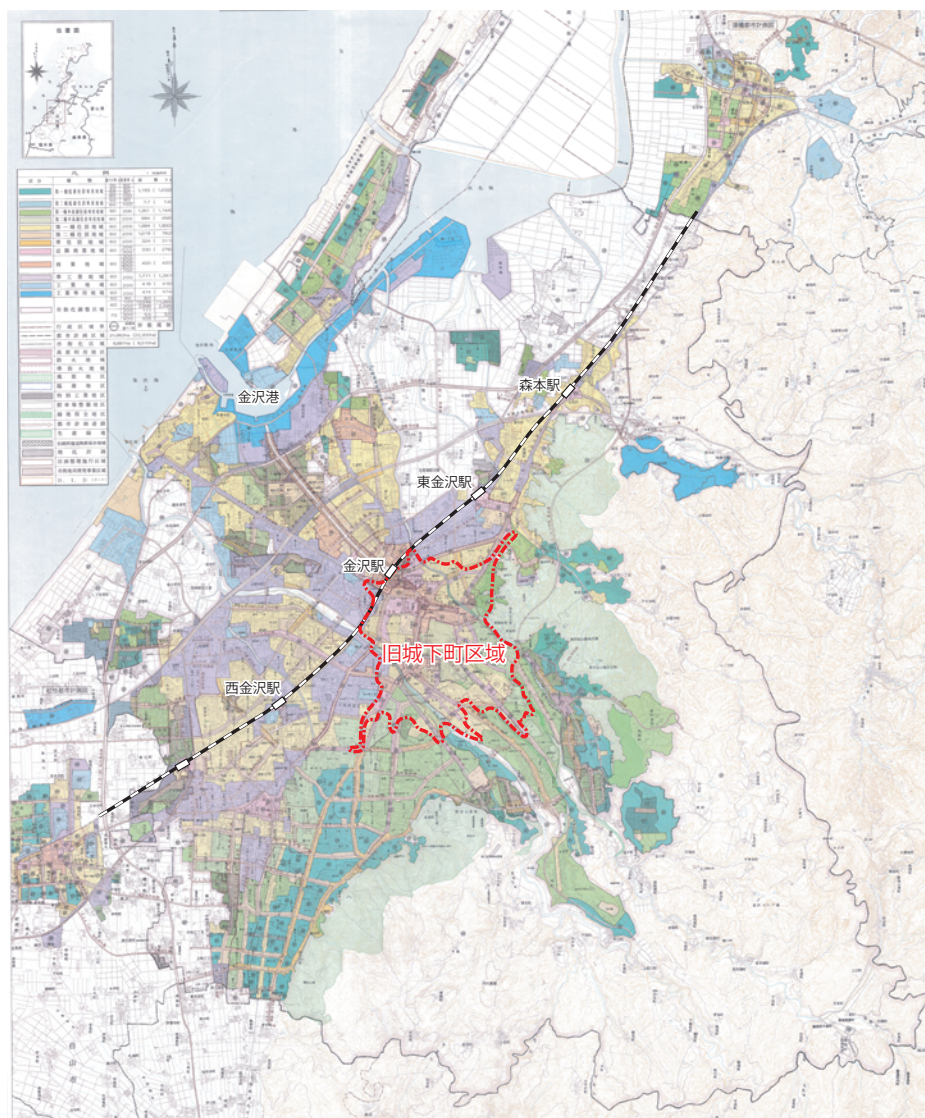
第4章 重点地区のまちづくり方針

(旧城下町区域)

4-1 重点地区の設定

藩政期からの都市構造を今に残す金沢の旧城下町区域は、「金沢らしさ」を最も強く表現するとともに、商業、業務機能の中心的役割を果たす重要な地区です。

当該地区の整備のあり方は、将来の金沢市の存立に大きく関わるとともに、周辺市街地整備にも大きな影響を与えることから、重点地区として捉えてまちづくりのテーマを設定し、そのテーマ実現のための各種方針を示します。

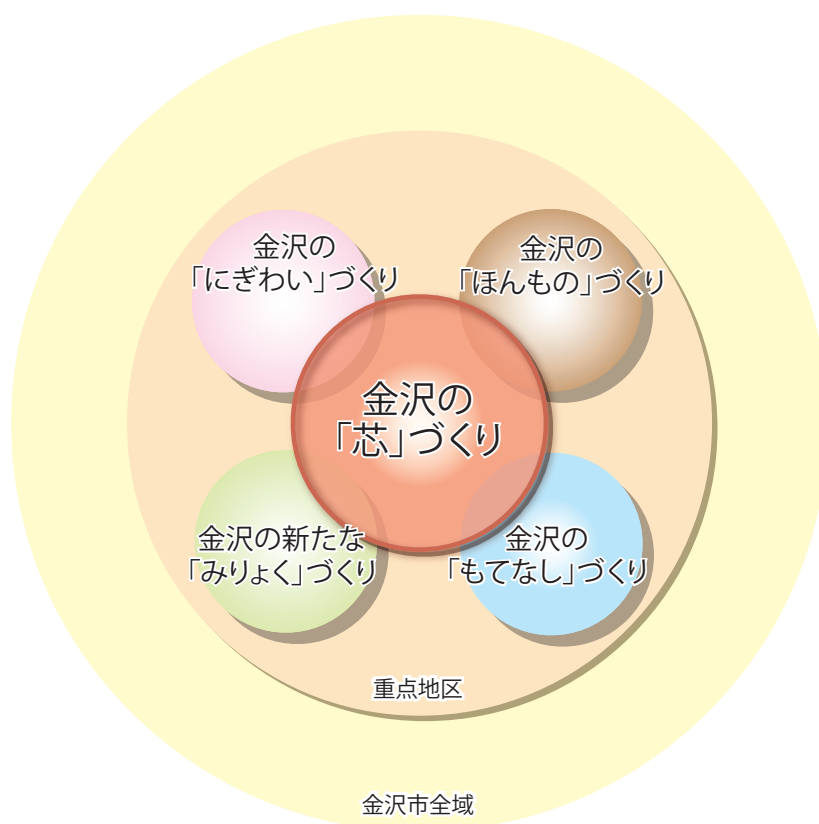


【重点地区（旧城下町区域）の概ねの範囲】

4-2 重点地区の まちづくりのテーマ

城下町「金沢」の伝統文化を背景として、集積する都市機能や施設及び歴史的かつ文化的な資源等を守り活かしながら、金沢の都市づくりを牽引する「芯」として、多様な人々が安全に住まい、営みと交流による「にぎわい」、生活に根付いた世界に誇る金沢の「ほんもの」、伝統と近代が調和、融合した新しい「みりよく」、多くの来訪者を暖かく迎える「もてなし」を創造し、金沢らしい成熟したまちを目指し、重点地区のまちづくりのテーマを次のように設定します。

旧城下町区域を金沢の都市づくりを牽引する「芯」として位置づけ、「にぎわい」、「ほんもの」、「みりよく」、「もてなし」を創造する。



【重点地区の
まちづくりテーマイメージ】

4-3 重点地区のまちづくり方針

都市づくりを牽引する金沢の「芯」づくりの基本方針

都市づくりの中心的役割を担う総合的な施策の展開

- ・ 金沢の「芯」として重要な役割を担う重点地区では、伝統環境と近代的都市環境のバランスがとれ、美しく風格のある成熟したまちなかの形成を目指します。
- ・ コンパクトな都市づくりを推進するため、商業、業務機能の強化とあわせて、まちなか居住のさらなる促進を図ります。
- ・ 伝統環境と近代的都市環境の調和、さらには歴史性、文化性も加味しながら、各種のまちづくり施策を総合的な観点で推進します。
- ・ 既存の各種制度の活用や金沢独自の制度などを創設し、市民、事業者及び行政の協働のもと、きめこまやかなまちづくりを推進することによって、地区の特性に応じた金沢らしい魅力ある都市空間の再整備を図ります。



公募型金沢市ゆめまちづくり活動支援事業

拠点都市基盤・施設及び市街地の整備

- ・ 北陸新幹線の金沢開業を見据え、金沢駅のさらなる機能充実を図り、その拠点性を活かした公共交通基盤や道路等の整備、機能強化を図ります。
- ・ 兼六園を含む兼六園周辺文化の森の整備促進等により、美しく、うるおいあるまちなかの都市基盤整備を図ります。



金沢駅 もてなしドーム

公共公益施設の充実とコミュニティの活性化によるハイアメニティのまちなか居住の推進

- ・ まちなかに集積する公共公益施設等の既存ストックを有効に活用しながら、快適なまちなか居住のさらなる向上を目指し、各種機能の充実を図ります。
- ・ 長い歴史を持つ、町内活動や消防団活動、善隣館活動等のコミュニティの活性化を図り、アメニティあふれるまちなか居住を促進します。



金沢市街

多様な人が住まい、営み、 交流する金沢の「にぎわい」づくり

金沢の「芯」となる旧城下町の魅力を磨き、後世に引き継いでいくために、人々の暮らし、経済活動、交流の場の形成による「にぎわい」を創出します。



まちなか住宅団地整備費補助制度
(長町地内)

にぎわいを創出する安全で安心なまちなか居住の推進

- まちなかの駐車場の適正配置とともに、未利用地の宅地化施策を検討し、建物利用を主体としたまちなからしい土地利用の実現を目指します。
- まちなか定住促進事業等の活用やかなざわ定住促進ネットワーク等との連携により、金沢のまちなかにふさわしい住宅モデルを示しながら、まちなか定住を促進します。
- 各種支援制度を活用し、まちなか居住を支える生活関連サービスの提供、充実に努めます。
- 重点地区に数多く残る町家を継承、活用し、定住促進やにぎわい創出に向けた施策を推進します。
- 密集市街地においては、地区の特性に応じた各種制度を活用し、災害に強い安全、安心な住宅地の整備に努めます。
- 街灯の設置等による居住環境改善や地域コミュニティの活性化を図ることで、犯罪を未然に防ぎ、安心して生活できるまちづくりを推進します。



片町・香林坊

商業、業務の機能強化によるまちなかの活性化

- 金沢駅～武蔵が辻～香林坊～片町に至る都心軸及び広坂通りについては、TMO との連携や地区計画、まちづくり協定等の活用により、活気がある都心軸にふさわしい沿道環境の創出を図るとともに、商業、業務機能の求心力を高め、活力ある商業空間や都心ビジネスの形成を図ります。
- ストリートファニチュアの充実や彫刻等を配置したアートアベニューの展開など、歩いて楽しめるユニバーサルデザインを取り入れた歩行空間を創出します。
- 商業地については、各種支援制度の活用やTMO との協働によって活性化を目指します。

多様な交流による地域や人とのつながりの育成・強化

- 金沢城公園周辺や茶屋街、寺町等の歴史的地区、新たな文化拠点である金沢 21 世紀美術館、ショッピング拠点としての香林坊地区など、各種観光拠点を結ぶ歩行者ネットワークの整備に努めます。
- まちなかの公園、広場において多彩なイベント等を催し、来訪者と地域の人々のつながりを図ります。

生活に根付いた 金沢の「ほんもの」づくり

金沢の「芯」となる旧城下町の魅力は、人々の生活に根付いた固有の伝統文化であり、歴史的遺産や文化的景観などの「ほんもの」を大切にします。

金沢固有の伝統文化に育まれた 歴史遺産、文化的景観の保存

- ・ 茶屋街や寺院群においては伝統的建造物群保存地区の指定を目指すとともに、景観条例や、こまちなみ保存条例及び寺社風景保全条例を活用し、町家や寺社等の歴史的建造物や庭園及びその周辺市街地の都市環境の保全を図ります。
- ・ 旧城下町を流れる辰巳用水や内外惣構等については、その歴史的価値を検証して、一部史跡指定を目指すとともに、開渠化等による復元、親水空間としての整備を推進します。
- ・ 歴史遺産については、調査、研究による価値付けと文化財指定等により、確実に保護するとともに、周辺環境との一体的整備を図ります。
- ・ 旧城下町としての都市基盤、長年蓄積された伝統文化及び藩政期から継承されている市民の暮らしに培われた金沢固有の文化的景観の保存を図ります。
- ・ 藩政期の面影を今日に残す細街路については、地域住民の生活環境に配慮しつつ、その魅力を残しながら維持、改善を図ります。
- ・ 城下町金沢の歴史的遺産群と文化的景観が、金沢が誇る世界的資産であることを学校教育や生涯学習の場を通じ、市民に対して啓発に努めます。

金沢ブランドの世界への発信

- ・ 兼六園、金沢城公園周辺は、まちなかの貴重な公共空間であるとともに、最も重要な歴史的空間であり、歴史、伝統、文化が息づく世界に誇る金沢の顔として、世界に向けてその魅力の発信に努めます。
- ・ 金沢が保持し続けた近世城下町の特徴である、用水、惣構、茶屋街、寺院群等の歴史遺産群も併せて広く世界に発信していきます。
- ・ 重点地区では、藩政期からの由来のある旧町名の復活を歴史に責任を持つ都市「金沢」として積極的に推進します。



ひがし茶屋街
※重要伝統的建造物群保存地区指定済



西外惣構



兼六園



旧町名の復活

古いものと新しいものが 調和する金沢の新たな 「みりよく」づくり

金沢の「芯」となる旧城下町が輝き続けるために、伝統環境保存と近代的都市環境創出を調和させながら、金沢の新たな「みりよく」を高めていきます。



金沢城公園



広坂通り



香林坊地区における伝統と近代の融合

伝統環境の保存・再生と近代的都市環境の創出

- ・ 重点地区内には、旧城下町の歴史や伝統を色濃く残した伝統環境が多く残されており、これらを適切に後世に引き継ぐため、歴史的検証に基づいた保存、再生を図ります。
- ・ 歴史的価値のみだけでなく、文化的側面からもまちなかの歴史的風致の維持及び向上を図り、金沢らしい景観づくりに努めます。
- ・ 都心軸沿道や幹線道路沿道においては、地区計画やまちづくり協定等の活用により、日本海側の中核基幹都市にふさわしい近代的都市環境を創出します。

伝統環境と近代的都市環境が調和した輝く個性の創出

- ・ 重点地区は、伝統環境と近代的都市環境が共存していることが大きな特徴になっています。今後、その中間領域の景観のあり方を検討するとともに、景観区域を重点地区全域に拡大し、魅力あるまちなかの景観の創出を図ります。
- ・ さらなるまちなかの景観創出に向けて、優れたデザインの建造物等について、省エネルギーに配慮しながらライトアップするなど、金沢にふさわしい夜間景観の創出を促進します。
- ・ 電柱、電線類については、地中化や軒下配線などによって計画的に無電柱化事業を推進し、美しく安全なまちづくりに努めます。
- ・ 道路標識については、安全かつ円滑な交通を確保することを前提に、表示機能には影響を及ぼさない範囲において、寸法や文字の大きさ等を周辺環境に調和して柔軟に運用することにより、魅力ある都市景観を保全します。

やさしさと親しみに満ちた 金沢の「もてなし」づくり

金沢の「芯」となる旧城下町を舞台とした交流拡大を図るために、住む人、訪れる人双方にやさしさと親しみに満ちた「もてなし」を提供します。

利便性に富み、誰もが快適に暮らせる生活基盤の整備充実

- ・ 都心軸は市内の公共交通路線網の最重要区間であり、新幹線開業に対応するためにも、まちなかシャトルバスの導入をはじめとしたさらなる利便性の向上を図ります。
- ・ まちなかの身近な足として、ふらっとバスの利用を促進します。
- ・ 今後の高齢社会を見据え、駅、バス停、歩道等の交通施設はもとより、不特定多数の人々が利用する建築物等についても、バリアフリー化を図ります。



ふらっとバスの利活用

魅力あふれる持続可能な都市環境の創出

- ・ 公共交通の利用促進を図るとともに、魅力ある歩道の整備、歩けるネットワークづくりや、歩行者専用道路の拡充等、歩けるまちづくりを推進します。
- ・ 自転車の走行環境の改善を図るとともに、自転車走行ルールや自転車駐輪マナーの周知徹底を図ります。
- ・ 斜面緑地の保全、民有地や駐車場、商業施設の屋上等の緑化、緑地の整備推進等により、緑豊かな環境の再生、創出を図ります。
- ・ 兼六園、金沢城公園周辺や河岸段丘と河川、用水等による緑と水のネットワークを構築し、魅力ある都市環境の創出を図ります。



緑と水のネットワーク

もてなしの力で育む交流の拡大

- ・ 金沢で「ほんもの」の伝統文化を体験できるように、重点地区に多く存在する各種観光資源の保存、継承を図るとともに、観光ボランティアガイドなどの人材を育成し、来訪者に対して、金沢独特のやさしいもてなしの心で、多彩な交流の拡大を図ります。
- ・ 今後見込まれる外国人観光客の増加に対応し、主要な拠点における外国語併記の案内誘導サインや案内所の適切な配置に継続的に取り組み、国際観光都市としてのもてなし基盤の充実を図ります。



通訳ボランティアガイド (KGGN)

